

設計課題 「健康づくりのためのスポーツ施設」

I. 設計条件

この課題は、中核都市の市街地において、健康増進、健康寿命の延伸を目的としたエクササイズ等を行う温水プールのある建築物を計画するものである。本施設は、スポーツ・レクリエーション等による効果的な健康増進プログラムを検討するとともに、高齢者、身障者等を含むすべての地域住民が、気軽にスポーツに親しむことのできるものとする。

なお、計画については、良好な周辺環境を積極的に活用するとともに、環境負荷低減のため、パッシブデザインを積極的に取り入れ、省エネルギーに配慮した計画とする。

1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、右図のとおりである。なお、敷地は、駅から約100mのところの位置している。
- 敷地は、平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、準住居地域及び準防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は90%(特定行政庁が指定した角地における加算を含む。)、容積率の限度は300%である。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤は良好である。
- 気候は温暖で、積雪についての特別な配慮はしなくてよい。なお、風環境は、夏期は南からの卓越風、中間期は北からの卓越風がある地域とする。

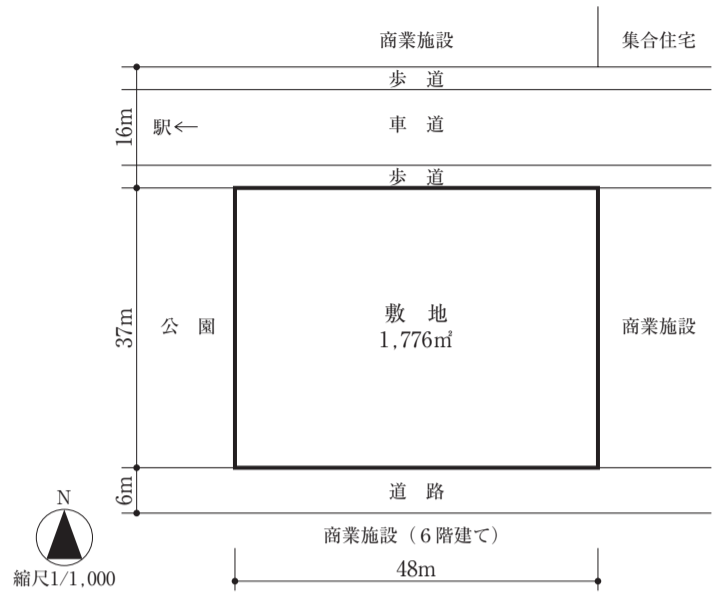
2. 建築物

- 構造、階数等
構造種別は自由とし、地下1階、地上3階建ての1棟の建築物とする。
- 床面積の合計
地下1階を除く床面積の合計は、2,300㎡以上、2,700㎡以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しないものとする。
- 要求室
下表の室は、全て計画する。

部門	室名	特記事項	床面積
・運動部門は有料とし、料金の徴収は事務室受付で行うものとする。			
運動部門	プール室	・設置階は自由とする。 ・カフェからプールを閲覧できるように計画する。 ・プールは、長さ25m、幅8m、最深1.1mとし、車いす使用者に配慮したスロープを計画する。 ・天井を張るものとし天井高は、6m以上とする。 ・小規模な採暖室及び監視室を附属して設ける。 ・器具庫を設ける。	適宜
	小体育館	・直径10mの円が1つ以上入るスペースとし、無柱空間とする。 ・天井を張るものとし天井高は、6m以上とする。 ・器具庫を設ける。	約220㎡
	トレーニングルーム	・各種トレーニングの利用を目的とする。 ・天井を張らないものとする。 ・器具庫を設ける。	約200㎡
	スタジオ	・エアロビクスやヨガ等を行う。 ・壁の一面に鏡を設ける。	約100㎡
附属部門	更衣室	・男性用、女性用として2室(100㎡以上/1室)を設け、それぞれに、車いす使用者用更衣室1室を計画する。 ・ロッカー、洗面台、シャワー、便所を設け、車いす使用者用更衣室には、洗面台、シャワー、便器を設ける。 ・プール室、小体育館、トレーニングルーム及びスタジオの利用者が使用する。 ・入室管理を適切に行う。	200㎡以上
	多目的室	・スポーツ・健康に関する講習や講演等に利用する。 ・可動間仕切により、2室に分割して利用できるようにする。	約80㎡
	セミナー室(1)(2)	・スポーツ・健康に関する講習や講演等に利用する。 ・それぞれに収納を設ける。	計約120㎡
	休憩ラウンジ	・施設利用者が小体育館を閲覧できるようにする。 ・利用者の休憩、交流、待合せの場として、明るく開放的な空間とする。	約50㎡
共用・管理部門	趣味室		約50㎡
	エントランスホール	・風除室を設ける。 ・1階から3階の空間の連続性を考慮した明るく開放的な吹抜けを設け、梁は設けない構造計画とする。	適宜
	カフェ	・40人程度が利用できるようにする。 ・厨房、カウンター、テーブル、椅子等を設ける。 ・外部からも直接利用できるものとする。	適宜
	事務室	・施設長と4人の事務員が使用する。 ・職員の更衣スペースを設ける。 ・運動部門の料金徴収ができる受付カウンターを設ける。	適宜
	医務室		適宜
	プール指導員更衣・休憩室	・男性用、女性用として2室を設ける。	適宜
設備スペース	指導員控室	・トレーニングルーム及びスタジオ指導員の控室として利用する。 ・休憩スペース及び男性用、女性用の更衣スペースを設ける。	30㎡以上
	空調機械室	・外気を温湿度調整して居室に送風する。 ・設置階は自由とする。	適宜
	電気室	・地下1階に計画し、受変電設備及び非常用発電設備を設ける。 ・設備機器の搬出入及び更新に配慮する。	適宜
	機械室	・地下1階に計画し、熱源設備、水槽類、ろ過機、ポンプ等を設ける。 ・設備機器の搬出入及び更新に配慮する。	適宜
・便所、従業員等の出入口、倉庫(備品庫等を含む)及びゴミ置場については、適切に計画する。 ・その他必要と思われる室、什器等は、適宜計画する。			

3. その他の施設等

- 屋上庭園(施設の利用者が自由に散策できるもの)を、次のとおり計画する。
 - 1階又は2階の屋上に設けるものとし、まとまったスペースで200㎡以上(上部に屋根又は上階がある部分は算入しない。)
 - 公園が見渡せる位置に計画する。
 - 植栽を計画し、ベンチ、テーブル等の屋外ファニチャーを設置する。
- 敷地内の駐車場は、地上に平面駐車とし、車椅子使用者用として1台分、サービス用として2台分(計3台分)のスペースを設ける。なお、利用者・職員等の駐車場は、近隣の駐車場を利用するものとし考慮しなくてもよい。
- 敷地内の駐輪場は、利用者用として20台分を設ける。
- (1)~(3)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。



II. 要求図書

答案用紙Ⅰ及び答案用紙Ⅱの定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙Ⅰに記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい。)、必要な事項を記入する。なお、各図面には、建築計画、構造計画及び設備計画において留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図・配置図 1/200	① 各平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法(スパン割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ. 室名等 ハ. 要求室の床面積 ニ. 設備シャフト[パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)]、煙突の位置 ホ. 設備計画に応じた設備スペース ヘ. 断面図の切断位置 ト. 開口部に設ける防火設備等(ダンパー類を除く。)の種類(答案用紙Ⅰに記載の凡例にしたがって図示する) チ. 屋上庭園の面積、植栽、テーブル及びいす リ. 要求室の特記事項に記載されている室、スペース、什器等
(2) 2階平面図 1/200	② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 駐車場及び駐輪場(台数及び出入口を明示する。) ハ. 通路、植栽等
(3) 3階平面図 1/200	③ 2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から2つの直通階段に至る歩行経路、それらの距離及び重複区間の距離 ロ. 1階の屋根、ひさし等となる部分
(4) 断面図 1/200	④ 3階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から2つの直通階段に至る歩行経路、それらの距離及び重複区間の距離 ロ. 2階の屋根、ひさし等となる部分
(4) 断面図 1/200	① 切断位置は、プール室を含み、建築物の立体構成(1~3階)及び屋根形状がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ③ 塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高並びに1階床高及び主要な室名を記入する。 ④ 基礎、壁、梁及びスラブの断面を図示する。

2. 面積表(答案用紙Ⅰに記入)

地上1~3階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

3. 計画の要点等(答案用紙Ⅱに記入)

- 建築計画について、次の①~③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - 敷地の周辺環境を踏まえた建築物の配置計画について考慮したこと
 - 「セキュリティ」及び「はきかえ」(上足・下足)に配慮した動線計画について考慮したこと
 - 施設利用者の避難計画において、配慮したこと
- 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - プール室の上部(屋根又は床スラブ)構造の「部材の断面寸法」並びに、「構造種別・架橋形式」、及び「スパン割り」について考慮したこと
 - 屋内プールの構造計画について考慮したこと
- 設備計画について、次の①~③の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
 - プール室に採用した空調方式、採用した理由について配慮したこと
 - 建築計画において、冷暖房負荷削減及び自然通風について工夫したこと(建築材料のみの記述は不可。)
 - 空調設備計画において、空調用エネルギーを削減するために考慮した省エネルギー手法について記述すること